

排水金具

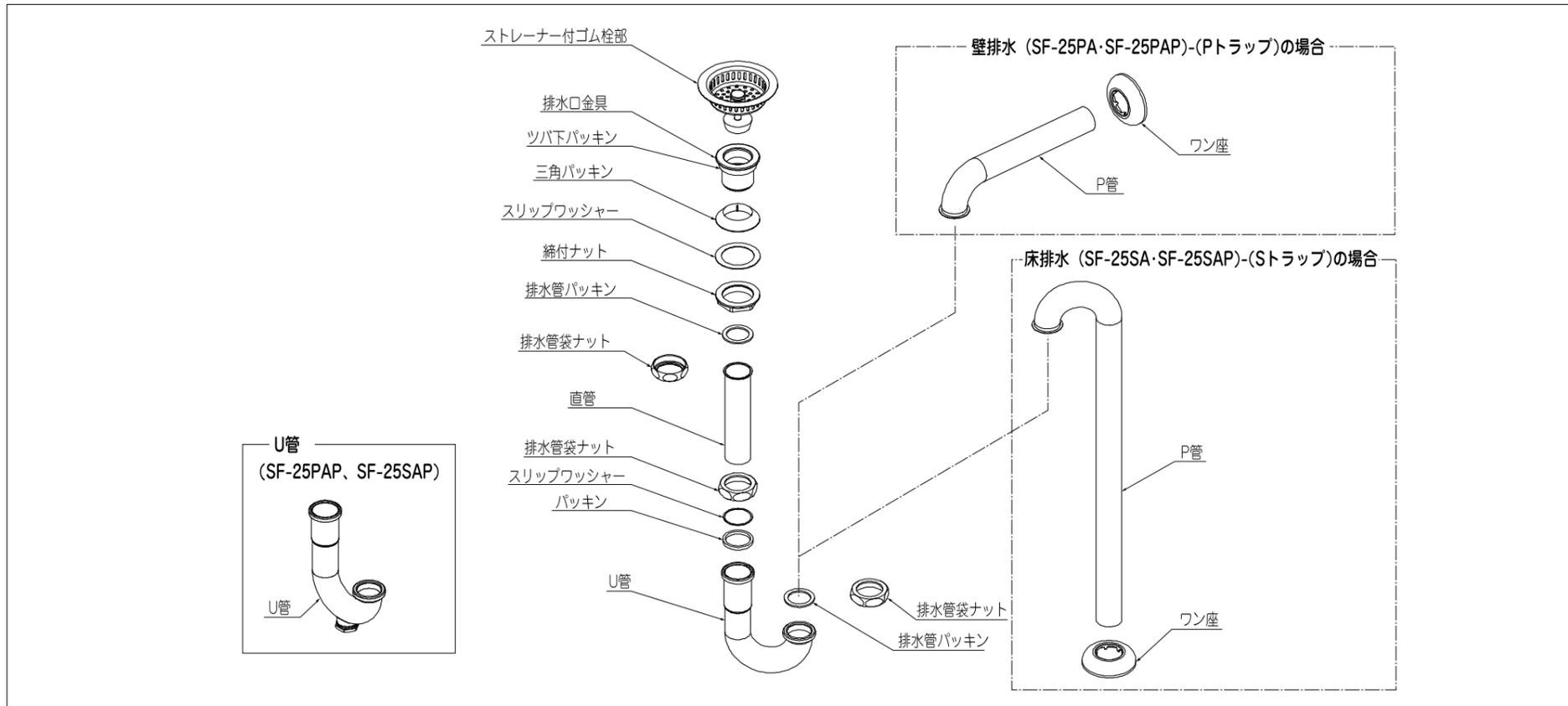
- 床排水(Sトラップ) : SF-25SA, SF-25SAP
- 壁排水(Pトラップ) : SF-25PA, SF-25PAP

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意

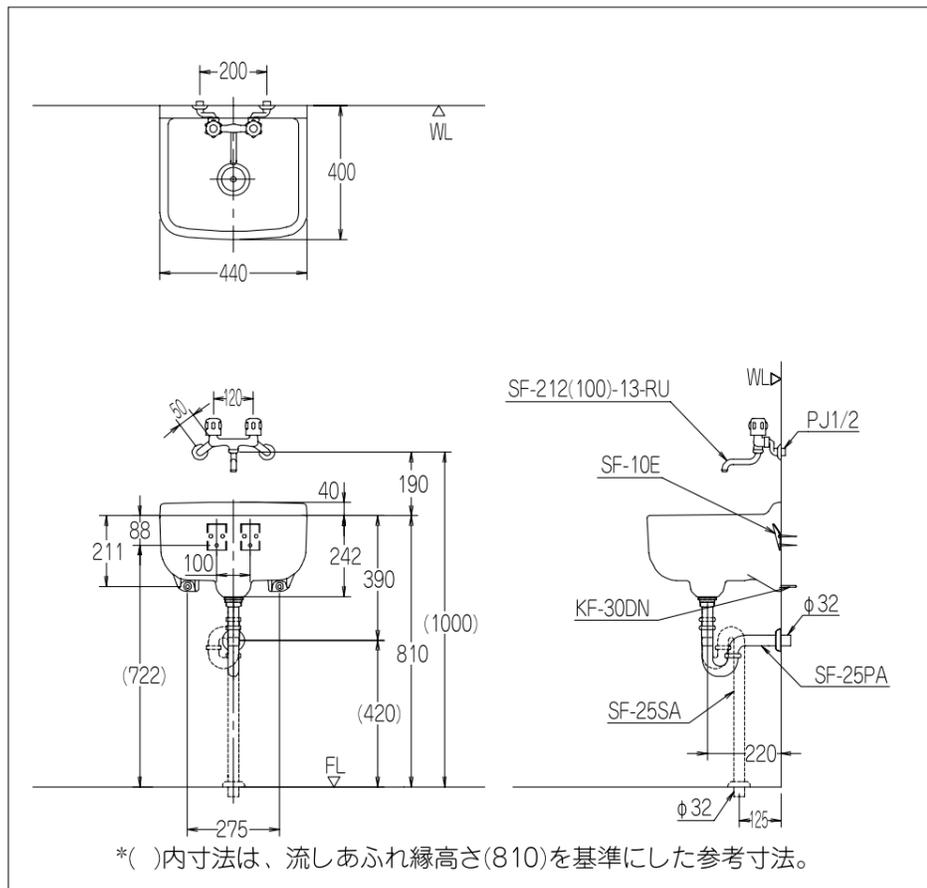
- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず漏水確認を行ってください。

部品の名称

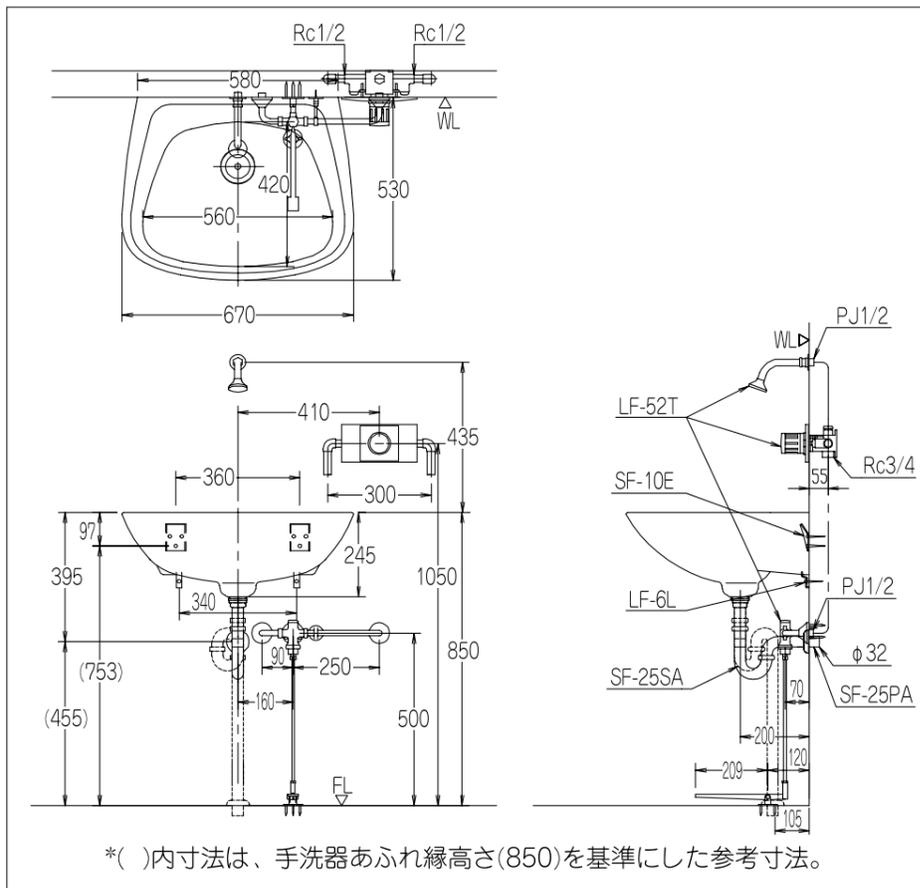


施工完了図

S-17と組み合わせ例



L-125と組み合わせ例



※床排水の場合、排水管は破線表示になります。

部材	排水金具		別途購入部品		
	床排水 (Sトラップ)	壁排水 (Pトラップ)	衛生陶器	バックハンガー	木ネジ
下地の材質			S-17	SF-10E(AY)	AY-55DN
コンクリート	SF-25SA SF-25SAP	SF-25PA SF-25PAP	L-125		LF-6L(AY)
それ以外の場合 (合板等)			S-17	SF-10E	KF-30DN
			L-125		LF-6L

安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、お客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

用語および記号の説明

注意…取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

 …「注意しなさい！」
(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

 …「してはいけません！」
(してはいけない行為を表しています。たとえばⓧは「分解禁止」を示しています。)

 …「指示通りにしなさい！」
(一般的な行動指示記号です。)

⚠注意

 修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理・改造を行わないでください。
※ケガをしたり、漏水、故障、破損を引き起こす恐れがあります。

 掃除用流しに、お湯をそそいだりしないでください。
※ケガをしたり、漏水、破損を引き起こす恐れがあります。

 上水道以外は使用しないでください。
※内部腐食や異物のつまりにより、故障の原因となります。

 施工後の漏水点検を必ず行ってください。
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

 オーバーフロー穴がありませんので、ご使用中はその場を離れないでください。
※漏水により家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工前のご注意

- はじめに、輸送中の破損がないことを確かめてください。
- 本品は非常に重いため、施工の際は落とさないよう十分注意をしてください。ケガをしたり、部品を破損する恐れがあります。
- 各接続部は、漏水が起こらないように確実に接続してください。
- 施工時に、トラップの表面を傷つけないようにしてください。

施工手順

1. 下準備

設置する壁面は平滑で凹凸がないことを確認してください。

<木造壁の場合>

取付部厚さ50mm以上になるように、補強木を設けてください。
※補強木は構造体との固定を行ってください。

<コンクリート壁の場合>

取付部の奥行きは75mm以上(コンクリート厚40mm以上)を確保してください。

	品番	本数
S-17	AY-55DN	2本
L-125	LF-6L(A Y)	2本

2. 配管内の掃除

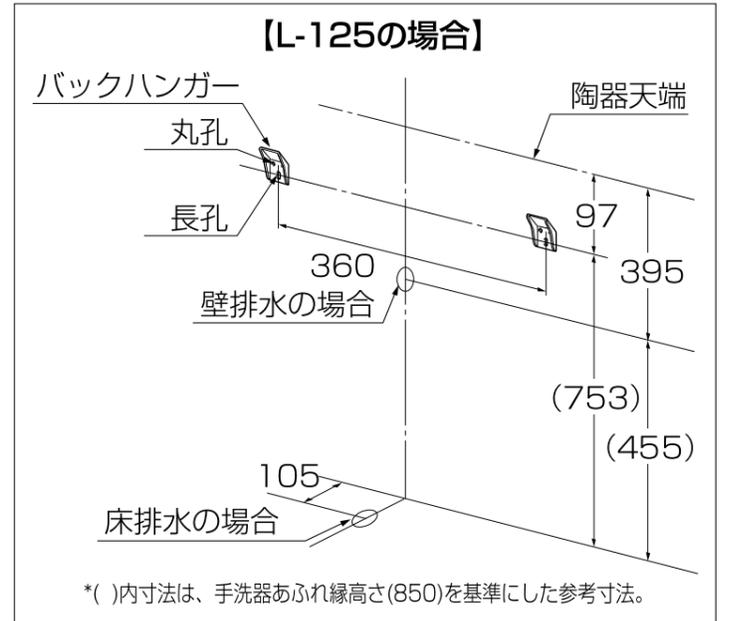
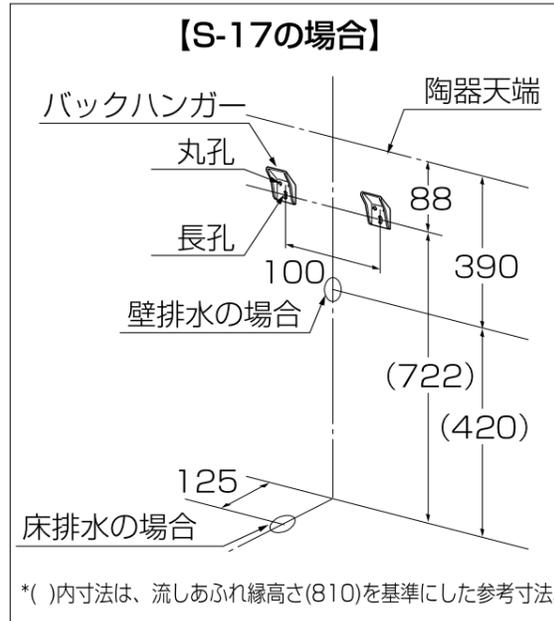
陶器を取付ける前に必ず配管内のごみ、砂等を完全に洗い流します。
※給水管の防露対策は必要に応じて現場で行ってください。

3. バックハンガーの取付けおよび壁止金具の位置決め

- (1)バックハンガーの長孔用の下穴をあけます。
※下穴寸法は右表を参考にしてください。
- (2)バックハンガーの長孔を利用して、バックハンガーを仮止めします。
- (3)陶器をバックハンガーに仮据えし、陶器の上部を押さえて陶器の位置、水平を確認します。
- (4)陶器の下部の取付穴に壁止金具を当てて、下穴の位置に印を付けます。

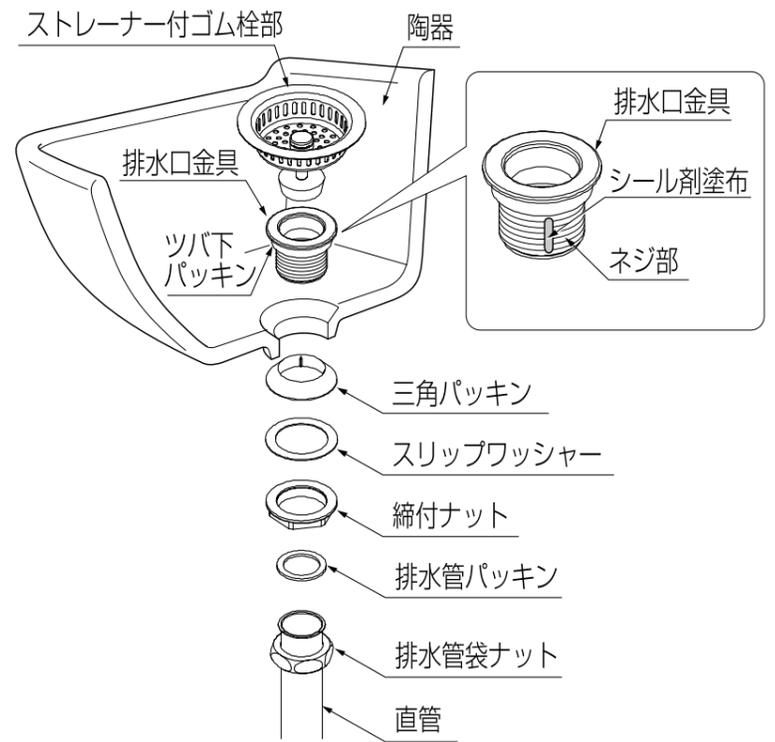
	直径 (mm)	深さ (mm)
本ねじ	4~4.5	約45
AYボルト	11~12	約70

- (5)陶器を外します。
※下穴寸法は右表を参考にしてください。
- (6)バックハンガーの丸孔の下穴をあけて、バックハンガーを本固定します。
※下穴寸法は右上の表を参考にしてください。



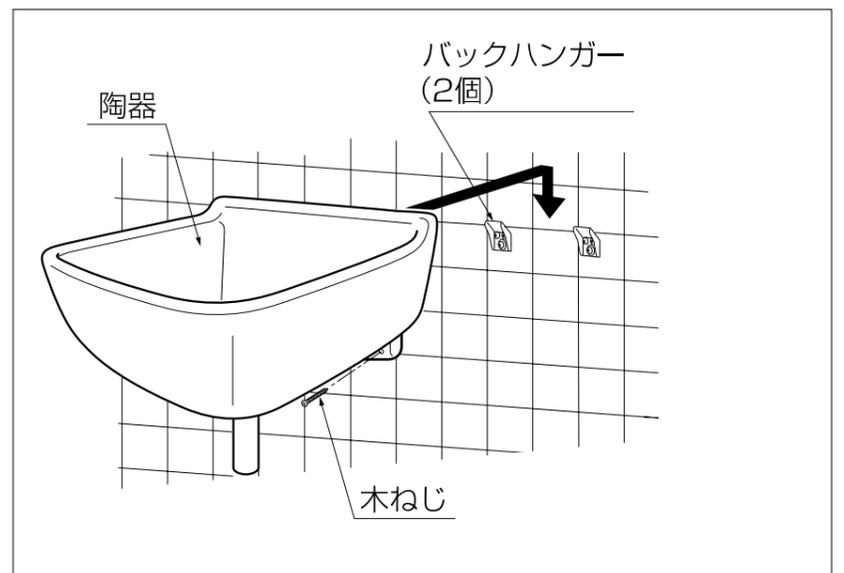
4. 排水金具の取付け

- (1)陶器に排水金具本体を取り付けます。
※取付前に、必ず陶器面の水分、油、ごみ等はふき取ってください。
※ナットを締め付け過ぎないでください。
過度な締め付けにより締め付ナットが割れる恐れがあります。
- (2)排水管袋ナットで直管と排水口金具のネジ部を接続します。
※漏れ防止のため、ツバ下パッキンを必ず入れてください。
※コーキングする場合は漏れ防止のため、右図矢印のネジ部にシリコンコーキング等のシーリング剤を塗布します。



5. 陶器の取付け

- (1)陶器をバックハンガーにかけます。
- (2)水平になっていることを確認して、木ねじまたはAYボルトで固定します。
- (3)ストレーナ付ゴム栓を、排水金具の上へ取付けます。

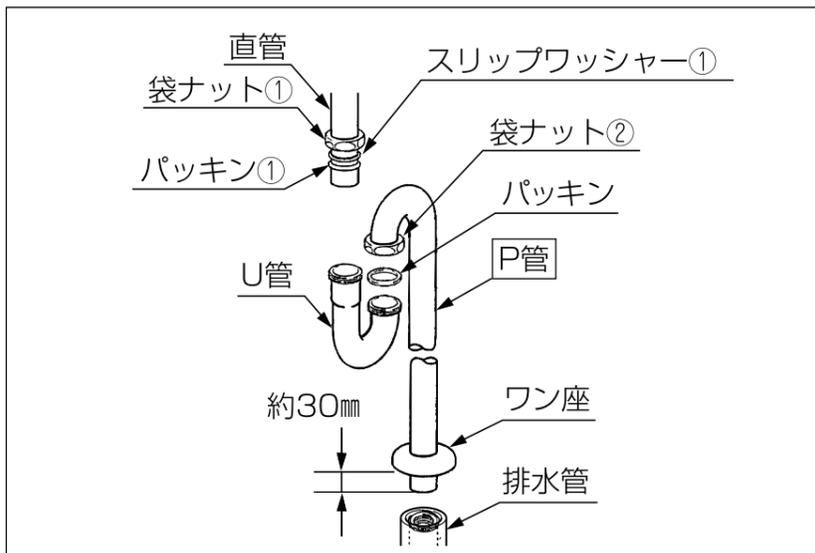


6. 排水管の接続

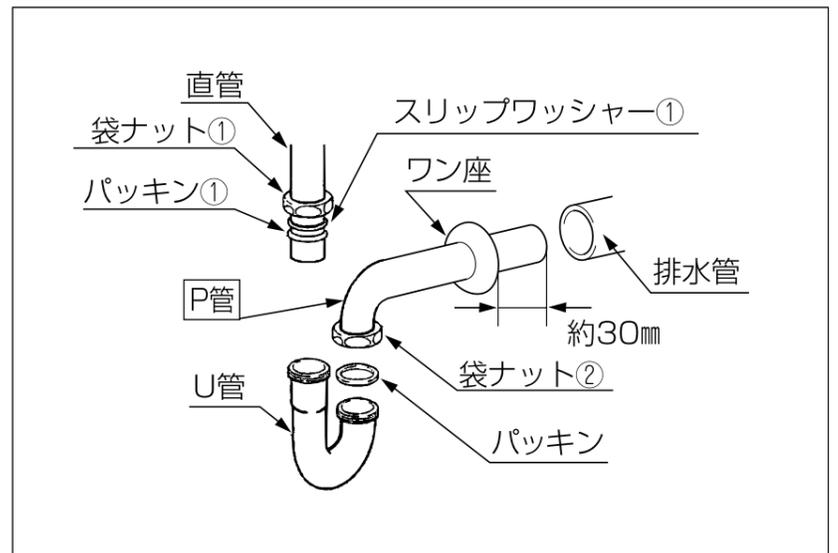
排水トラップを仮付けして、P管を排水管との差込みしろ約30mmを残して切断してください。

- (1) U管に接続されている①のパッキン、スリップワッシャー、袋ナットを外します。取り外した順に排水金具に接続した直管へ通します。
- (2) U管と直管を袋ナットで接続します。
- (3) ②の袋ナットを外し、P管に通します。この時ワン座も一緒に通します。
- (4) U管とP管を袋ナットで接続します。

[Sトラップの場合]



[Pトラップの場合]



7. 施工後の確認

施工後に給排水接続部の水漏れがないことを必ず確認します。

※数回繰り返して水を流さないと確認が困難な場合があります。

※お引渡し前の注意

屋外設置の場合、他の設備設置時の外壁の洗浄液（酸洗い）やモルタル吹き付け等により、汚れの付着や錆び等の発生する場合がございます。また、設置後長時間風雨にさらされると、汚れが付着する場合がございます。

そのため、設置後お客様にお引渡しするまでは、ビニールシートでカバーするなど、汚れが付着しない措置を取っていただきますようお願いいたします。

● お手入れ

普段のお手入れは、次のことに注意してください。

● 軽い汚れの場合

水またはぬるま湯で湿らした布で汚れをふきとってください。

● ひどい汚れの場合

食器洗い用中性洗剤の薄めた液を含ませた布で、汚れをふきとり、その後は水道水を含ませた布でよく洗剤をふきとってからふきしてください。

● 陶器の表面に付着したみずあかには、中性洗剤をスポンジに付け、陶器を洗ってください。

また、次のものは使用しないでください。表面を傷める恐れがあります。

- 磨き粉などの粒子の粗い洗剤
- 酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- ナイロンたわし、ブラシなど
- シンナー、ベンジンなどの溶剤

● 水栓金具は週に1回程度、乾いた柔らかい布でふいてください。

硬いものでたたいたり、ぶついたりしないでください。

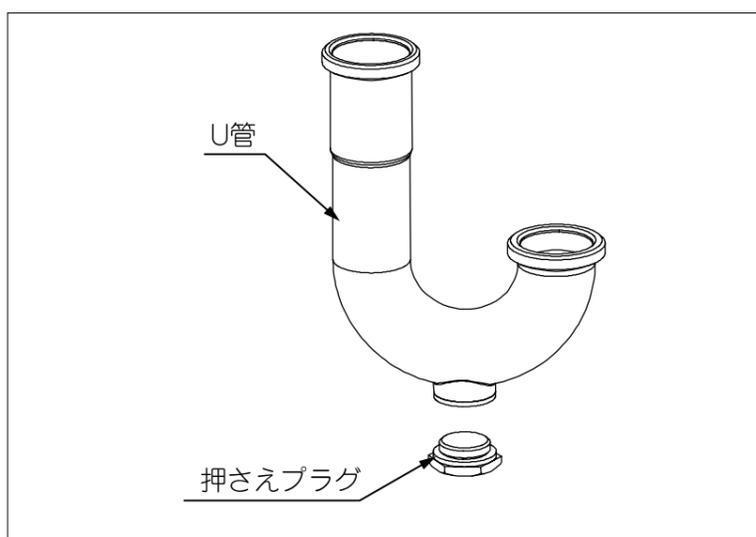
※キズが付いたり、メッキがはがれたりします。

※キズがついたり、メッキがはがれたりします。

さらに屋外設置の場合、設置後長時間風雨にさらされると、汚れが付着する場合がございますので、定期的なお手入れをしてください。

● 掃除口付排水金具の掃除方法 (SF-25PAP、SF-25SAP)

トラップの下についている底蓋（押さえプラグ）を回して外し掃除をします。



⚠ 注意

本製品には、トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ用ウェットティッシュ、磨き粉、クレゾールを使用しないでください。

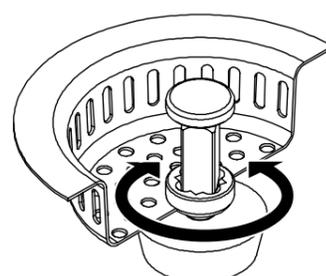
※表面を傷め、また故障の原因となります。



● ゴム栓の開閉

● 開く

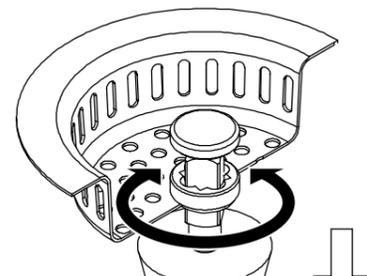
中心部の軸を引き上げ、45°回転させることで、ゴム栓が上がります。



開いた状態

● 閉じる

中心部の軸を45°回転させることで軸が下がり、ゴム栓が下がります。



閉じた状態